

# 第29回 史料保存利用問題シンポジウム

## 裁判記録の現状と課題

### —保存と公開体制の確立を—

日時：2024年6月22日(土) 13:30~17:30

会場：一橋大学東2号館2201教室（オンライン併用）

〈参加費無料／先着順受付〉オンライン参加者は事前申込／会場来場者は事前申込不要

事前申込はこちらから<<https://keio-univ.zoom.us/meeting/register/tZ0sd-2ppjorGt0R7QbeGaHNAa9dYf4eI5CP>>



総合司会：大橋 幸泰（日本学術会議会員 早稲田大学教授）

開会挨拶：若尾 政希（日本歴史学協会委員長）

#### 報告

霍見真一郎（神戸新聞編集局報道部デスク兼論説委員兼編集委員）

#### 紙と命—少年事件記録の廃棄問題—

湯上 良（昭和女子大学大学院准教授）

#### 司法資料の保存と利活用に関する海外の状況

梅原 康嗣（国立公文書館業務課長）

#### 国立公文書館における民事判決原本等の受入れについて

高埜 利彦（元日本学術会議会員 学習院大学名誉教授）

#### まとめと課題

#### パネルディスカッション

パネリスト：霍見真一郎／湯上 良／梅原 康嗣／高埜 利彦

司会：大友 一雄（日本歴史学協会国立公文書館特別委員会委員長）

佐藤 孝之（日本歴史学協会史料保存利用特別委員会委員長）

コメント 香室 結美（日本学術会議連携会員 熊本大学特任助教）

閉会挨拶：松本 直子（日本学術会議会員 岡山大学教授）

主催：日本歴史学協会・日本学術会議史学委員会

日本学術会議史学委員会アーカイブズと社会に関する分科会

後援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会・日本アーカイブズ学会